本渡に泊まって、タコ釣りをしませんか

7/4 本渡

～観光タコ釣り大会始まる～

天草ほんど観光旅館ホテル組合などでは、本渡地区の旅館やホテルなどに宿泊した観光客を対象に、９月６日まで「天草ほんど観光タコ釣り大会」を実施しています。７月４日には同大会を広くPRしようと、報道関係者など50人が招かれタコ釣りを体験。当日は早朝から、佐伊津漁港をタコが生息する約２㎞沖合いへ向け出港。参加者は、マダコやイイダコなどを次々と釣り上げていました。参加申し込みなどの詳細は、同観光旅館ホテル組合☎㉓5368へ。

▲大きなタコを釣り上げて喜ぶ子どもたち

みんなの力できれいな町に

7/5 有明

～町内一斉にクリーン作戦～

７月５日、「有明地区クリーン作戦」が町内一斉に行われました。これは、同地区の住みよいまちづくりのため、町内７つの地区振興会主催で毎年実施しているもの。当日は早朝から、約2,500人の地区住民が道路沿いや空き地の除草作業をはじめ、河川や海岸清掃などを行い、見違えるようにきれいになりました。また、同日に実施された“青少年の一日一汗運動”の子どもたちも作業に加わり、地区全体で美化に対する意識の高揚を図ることができました。

▲河川の清掃を行う地区住民

地域の財産「棚底城跡」の歴史を学ぼう

7/6 倉岳

～倉岳歴史講座～

７月６日、国の文化審議会から５月に国指定史跡として答申された“棚底城跡”を知ってもらおうと、「倉岳歴史講座」が倉岳多目的研修集会施設で開催されました。同講座は、地区住民に「どこが重要なのか、どんなお城だったのか、城主は」など十分な知識を得てもらおうと棚底地区振興会の主催で実施。中山圭・市学芸員が、同城跡の歴史や文化的価値などを説明しました。60人の参加者は、身近にある貴重な史跡のすばらしさを再認識していました。

▲中山学芸員の説明を熱心に聞き入る参加者

元気な芝生に育って！！

7/6 本渡

～広瀬公園野球場芝生の植え付け作業～

７月６日、広瀬公園野球場で芝生の植え付け作業が行われました。これは、教育委員会が球場内で一部はがれている芝生の植え付けを、本渡中学校の野球部員34人の協力により実施したもの。この日植え付けられた芝生は、“ティフトン”という西洋芝で、従来の芝生よりも繁殖力が強く、生育管理がしやすいのが特徴。参加した部員は、慣れない手つきで芝生を植えながら「自分たちが植えた芝が早く育ってほしい」と話していました。

▲熱心に芝生を植える部員

これからも地域を見守っていきたい

～(社)全国少年警察ボランティア協会少年補導功労者表彰～

天草地区少年警察ボランティア連絡協議会会長の龍石昭好さん（宮地岳町）が６月19日、(社)全国少年警察ボランティア協会少年補導功労者表彰で金章を受章しました。これは、多年にわたり少年の非行防止や健全育成に尽力した人に贈られるもので、県内では龍石さんが唯一の受章。龍石さんは、「少年補導員を30年続けることができたのは、少年補導員仲間とのつながりがあったおかげ。これからも変わらず地域を見守っていきたい」と話していました。

▲金章を受章した龍石さん

熱唱！牛深ハイヤ節

～牛深ハイヤ節全国大会～

６月27日・28日、牛深総合センターで「第９回牛深ハイヤ節全国大会」が行われました。同大会にはジュニア（中学生以下）、青年（高校生～ 39歳）、壮年（40 ～ 59歳）、実年（60 ～ 69歳）、高年（70歳以上）の部に全国から103人がエントリー。予選（ジュニアの部は決勝のみ）、決勝が各部ごとに行われ優勝者を決定しました。総合グランプリの栄冠には、壮年の部で優勝した城南町から出場の川端幸代さんが輝きました。

▲熱唱する総合グランプリの川端幸代さん

独特の食感をぜひご賞味ください！

～「天草緑竹」の収穫始まる～

市が特産化を進めている「天草緑竹」の収穫が、６月から市内各地で始まっています。緑竹は亜熱帯地域原産で、上品な甘みとシャキシャキとした食感が特徴。「タケノコの王様」と言われています。下浦町にある、大塚裕樹さん所有の緑竹園では、170本の緑竹を栽培。毎朝収穫されるタケノコは、天草緑竹生産組合（和泉孝男会長）の加工所へ送られ、箱詰めや真空パック処理などの作業を行った後、高級食材としておもに東京や大阪方面に出荷されます。

▲新鮮なタケノコを手にする大塚さん（左）と同組合職員の吉田さん（右）

いのちの大切さ、生きることの尊さを学ぶ

～社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会～

第59回社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化推進大会を７月４日、天草市民センターホールで開催しました。大会では、同運動を啓発する作文・標語入賞者の表彰や作文発表のほか、栖本中学校生徒による同校の学校版環境ISOの取り組みが発表されました。また、大会を記念して、木藤潮香さんが「親と子の絆～１リットルの涙～」と題し講演。難病を抱える娘との日々を切々と語る声に、約750人の来場者は静かに耳を傾けていました。

▲いのちの大切さと生きることの尊さを語る木藤潮香さん